

現地検討会の視察ルート

第2回委員会はやんばる地域での開催が予定されているため、これに伴い現地検討会を開催する。現地検討会では、保護林設定地域（案）、保存地区と保全利用地区のゾーニングに資する現況確認、及び関係者間での共有を目的とする。

現地検討会でのルートは、希少な動植物種の生息・生育地である、高齢林や二次林、溪流沿いの森林等を含めたルートを案として提示する。

1日目（7月16日）の行程

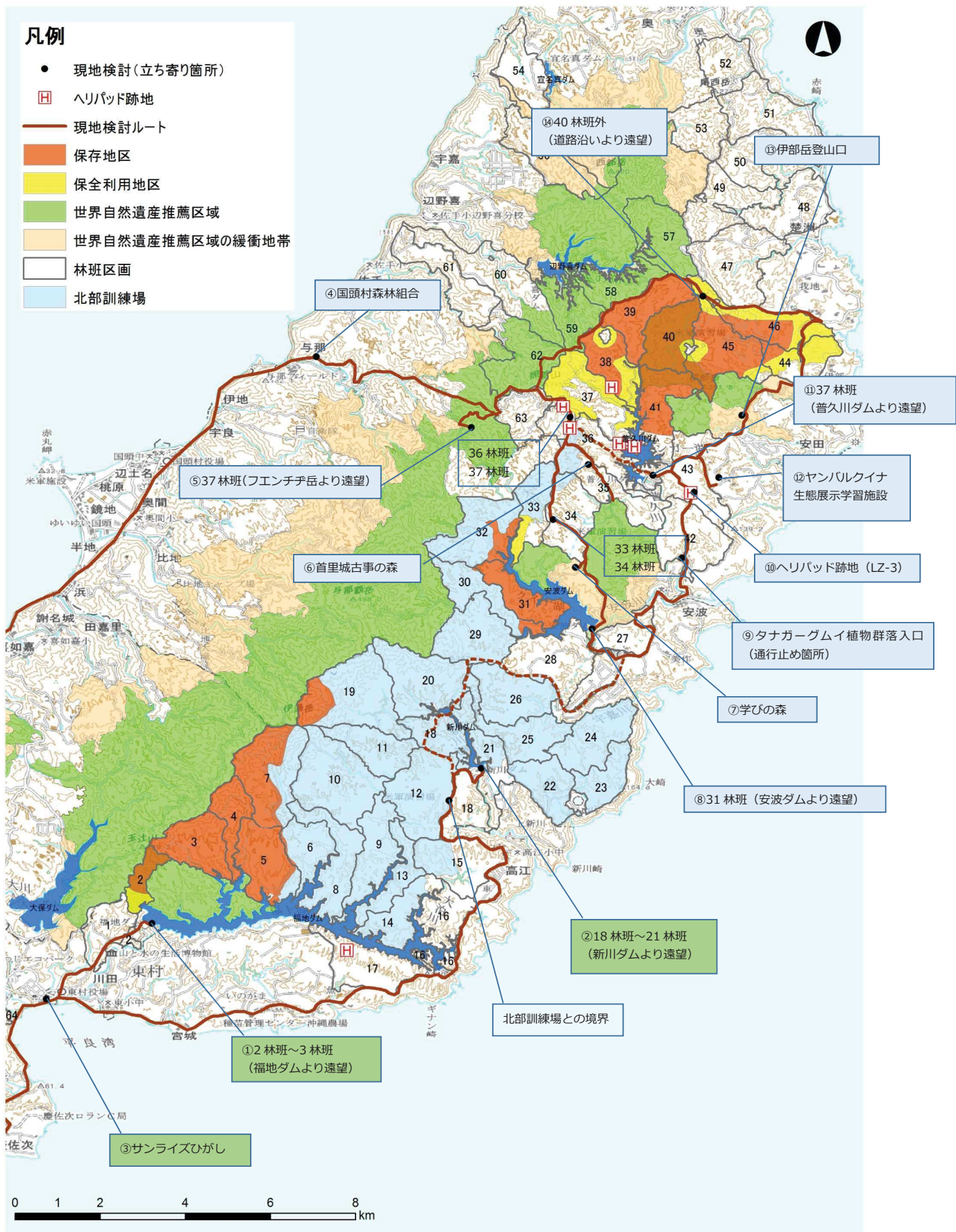
時間	行程	備考
11:40	那覇空港集合	
12:00～13:10（70分）	移動	・「那覇ICバス停」篠原先生と合流 ・車内にて行程説明
13:10～14:00（50分）	昼食	・名護市内にて昼食
14:00～15:00（60分）	移動	・「道の駅」藤掛先生と合流
15:00～15:15（15分）	①2 林班～3 林班 （福地ダムより遠望）	・福地ダム北部の2．3．4．5．7林班（保存地区）の眺望
15:15～15:45（30分）	移動	・北部訓練場との境界（12林班、18林班）通過
15:45～16:05（20分）	②18 林班～21 林班 （新川ダムより遠望）	・新川ダム北部の18．21林班（水源かん養タイプ）の眺望
16:05～16:35（30分）	移動	
16:35～16:50（15分）	③トイレほか休憩	・サンライズひがし
16:50～17:40（50分）	移動	
17:40	宿着	

2日目（7月17日）の行程

時間	行程	見どころ内容
8:30	宿発	
8:30～9:30 (60分)	移動	・車内にて行程説明
9:30～10:00 (30分)	④国頭村森林組合	・森林組合の現況等を聴衆（総務課長より説明）
10:00～10:15 (15分)	移動	・車内にて行程説明
10:15～10:40 (25分)	⑤37 林班（フエンチヂ岳より遠望）	・37 林班（保全利用地区）、38 林班（保存地区）、与那覇岳方面の眺望
10:40～10:50 (10分)	移動	・36 林班、37 林班（水源かん養タイプ）通過
10:50～11:20 (30分)	⑥首里城古事の森	・35 林班（水源涵養タイプ）の林内
11:20～11:30 (10分)	移動	・33 林班、34 林班（水源かん養タイプ）通過
11:30～12:30 (60分)	⑦学びの森	・民有林内 ・エコツアー利用（特定フィールド）、昼食
12:30～12:40 (10分)	移動	
12:40～13:00 (20分)	⑧31 林班（安波ダムより遠望）	・31 林班（保存地区）眺望
13:00～13:10 (10分)	移動	
13:10～13:20 (10分)	⑨タナガーグムイ植物群落入口（通行止め箇所）	・現在は立入禁止 ・42 林班（森林空間タイプ）
13:20～13:30 (10分)	移動	
13:30～14:00 (30分)	⑩ヘリパッド跡地（LZ-3）	・植生回復の現況 ・43 林班内（水源かん養タイプ）
14:00～14:10 (10分)	移動	
14:10～14:40 (30分)	⑪37 林班（普久川ダムより遠望）	・43 林班内（水源かん養タイプ）眺望
14:40～14:50 (10分)	移動	
14:50～15:20 (30分)	⑫ヤンバルクイナ生態展示学習施設	・ヤンバルクイナの生態ほかの学習施設
15:20～15:30 (10分)	移動	
15:30～16:00 (30分)	⑬伊部岳登山口	・民有林内 ・エコツアー利用（特定フィールド）
16:00～16:10 (10分)	移動	
16:10～16:20 (10分)	⑭40 林班外（道路沿いより遠望）	・39 林班、40 林班、45 林班（保存地区） 46 林班（保全利用地区）眺望
16:20～17:30 (70分)	移動	
17:30	宿着	

3日目（7月18日）の行程

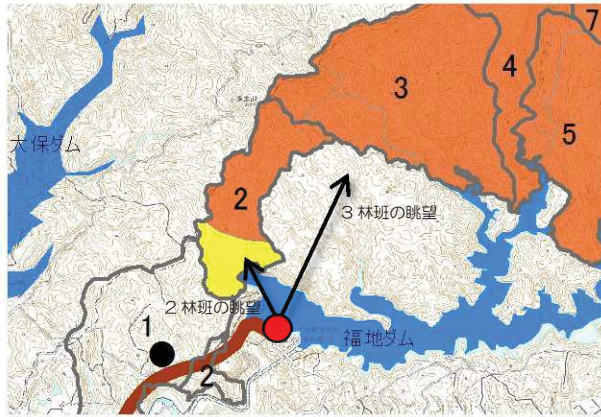
時間	行程	備考
8:30	宿出発	
8:30～8:45 (15分)	移動	
8:45～9:45 (60分)	視察	・森林資源研究センター
9:45～10:00 (15分)	移動	
10:00～12:30 (150分)	委員会	・名護市商工会 中会議室（2階）
12:30～13:30 (60分)	昼食	・名護市商工会 中会議室（2階）
13:30～15:00 (90分)	移動	
15:00	那覇空港着	・解散



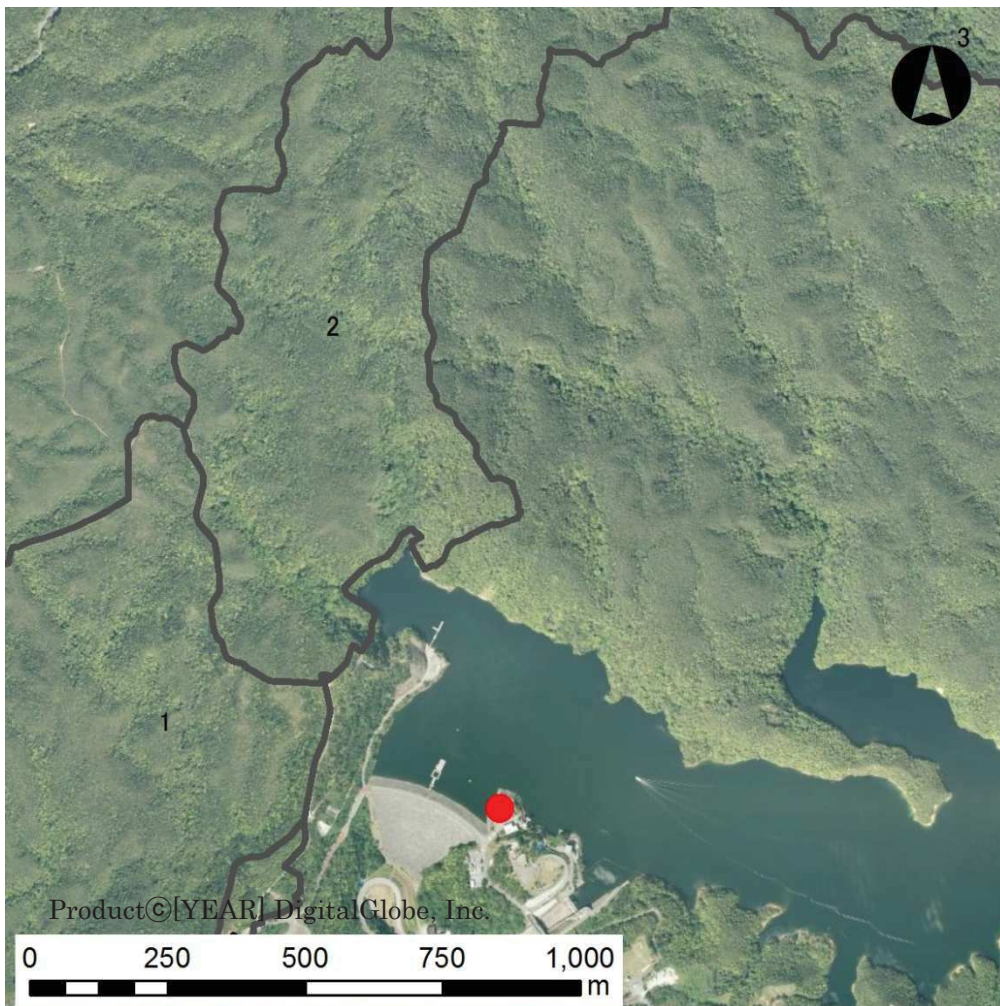
【1日目】

視察箇所① 2林班～3林班（福地ダムより遠望）

位置図



状況写真

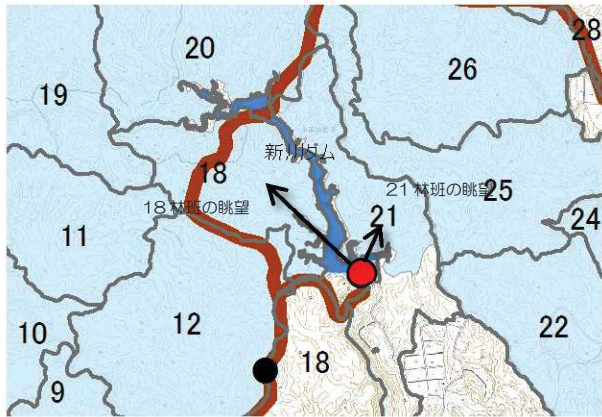


状況

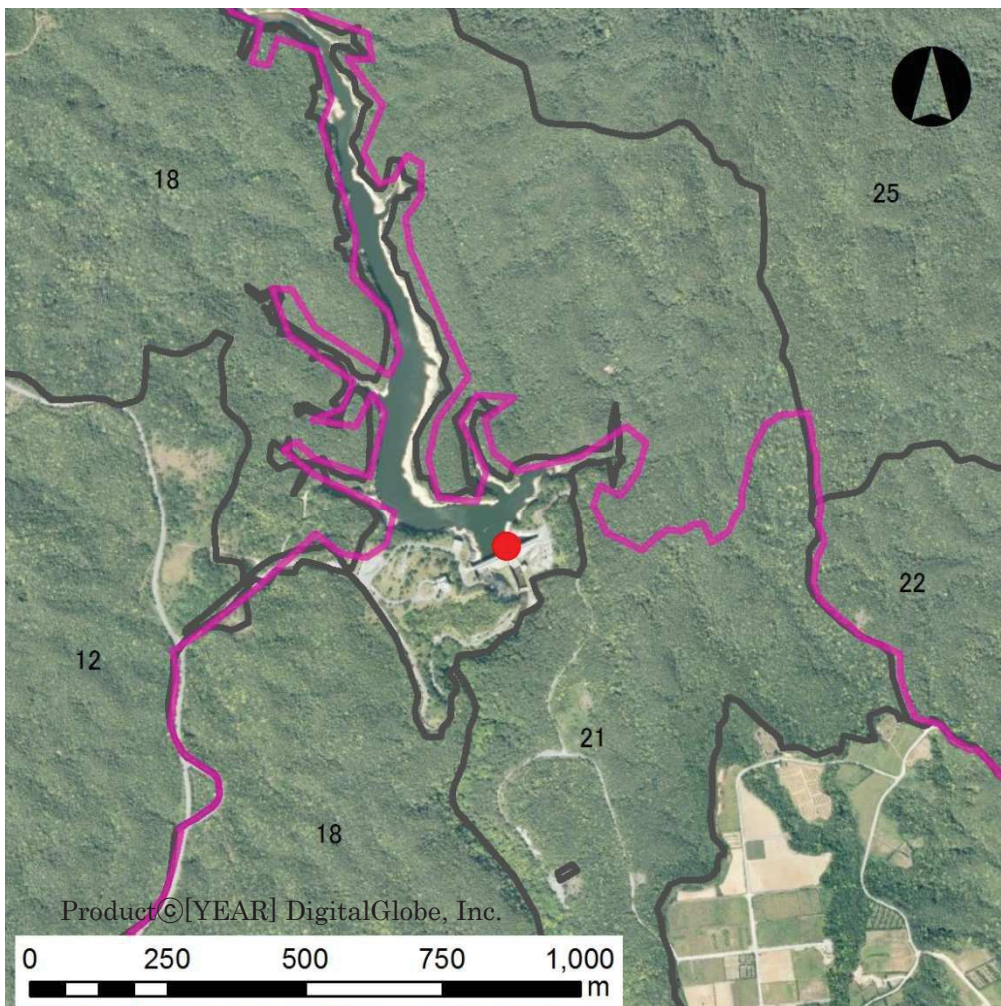
- ・福地ダム北側に広がる2林班は保存地区（予定）、保全利用地区（予定）。
- ・3林班は保存地区（予定）。

視察箇所② 18林班～21林班（新川ダムより遠望）

位置図



状況写真



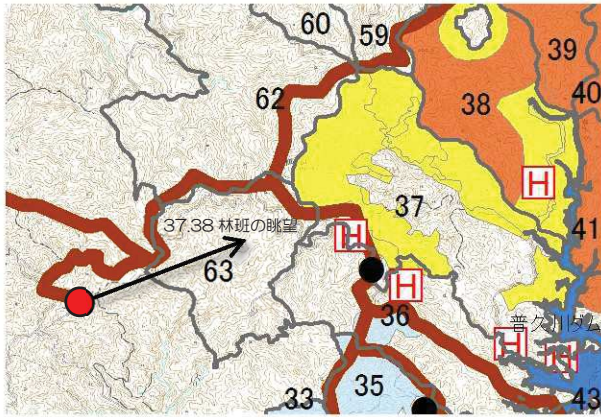
状況

- ・北部訓練場内の眺望
- ・18林班、21林班は、77年生のシイ（天然林）

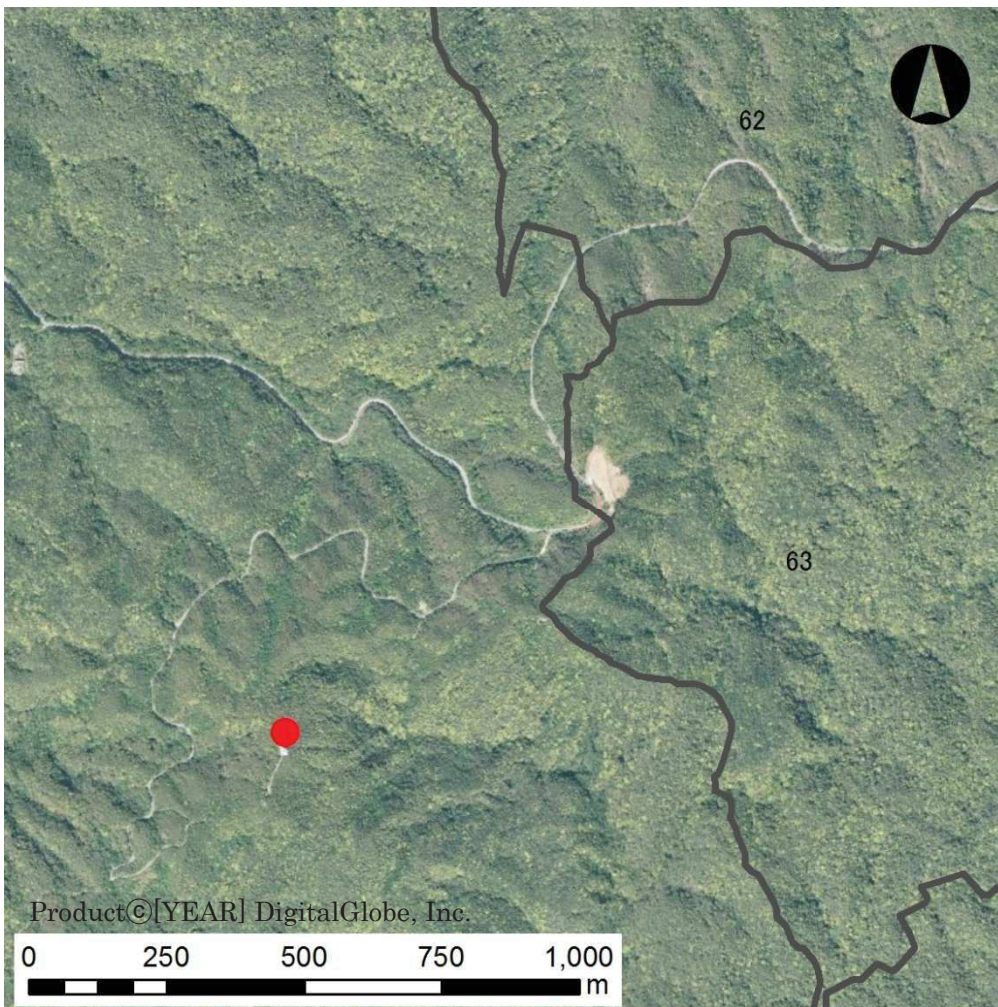
【2日目】

視察箇所⑤ 37 林班 (フェンチヂ岳より遠望)

位置図



状況写真

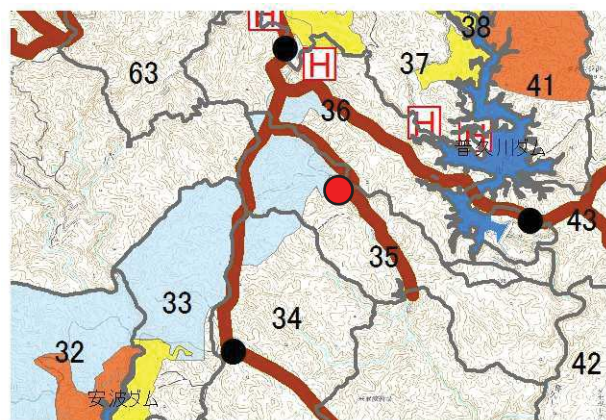


状況

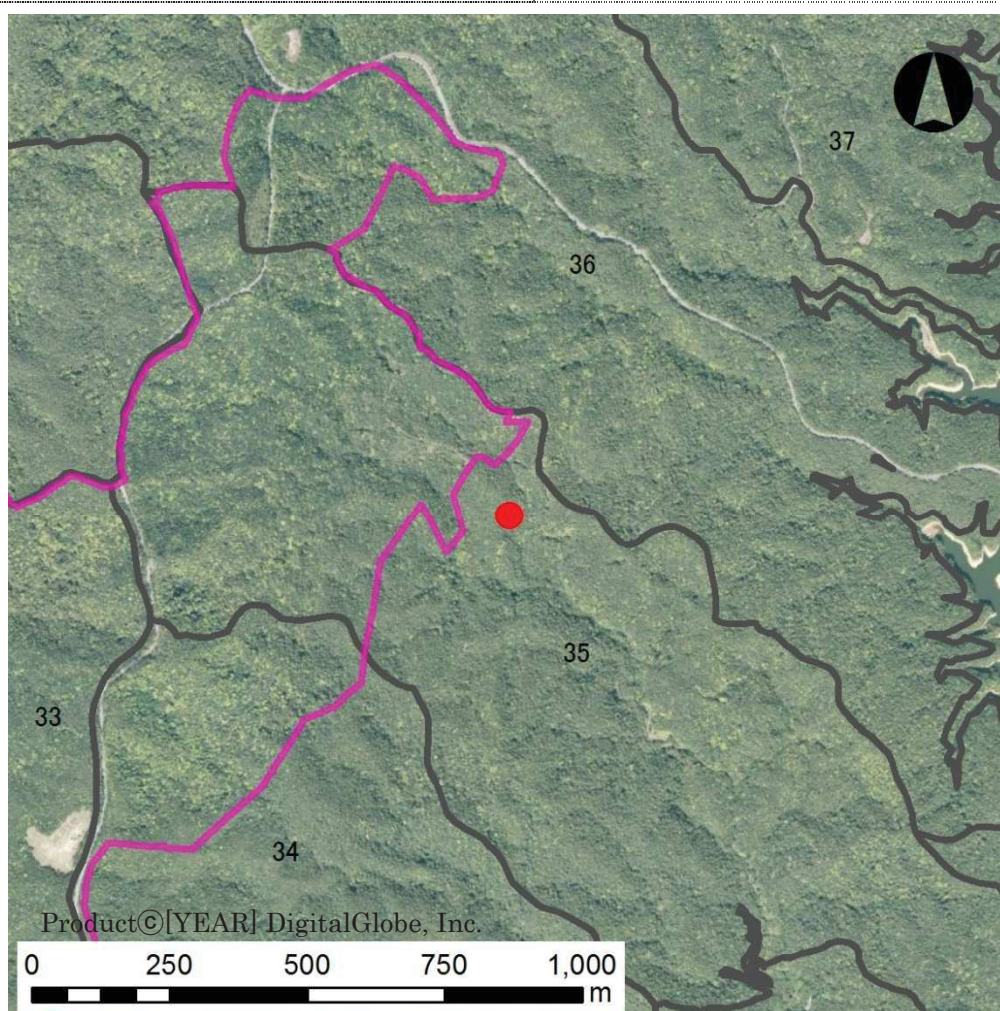
- ・ 37 林班の内、保全地用地区 (予定) は、49 年生のリュウキュウマツ、67 年生のシイ (天然林)
- ・ 37 林班の内、保全地用地区 (予定) 外は、45~52 年生のリュウキュウマツ

視察箇所⑥ 首里城古事の森

位置図



状況写真

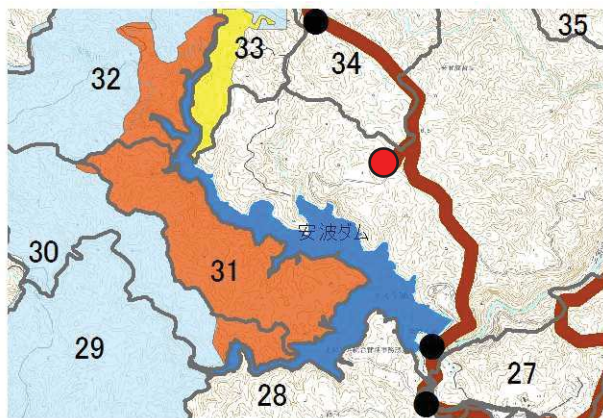


状 況

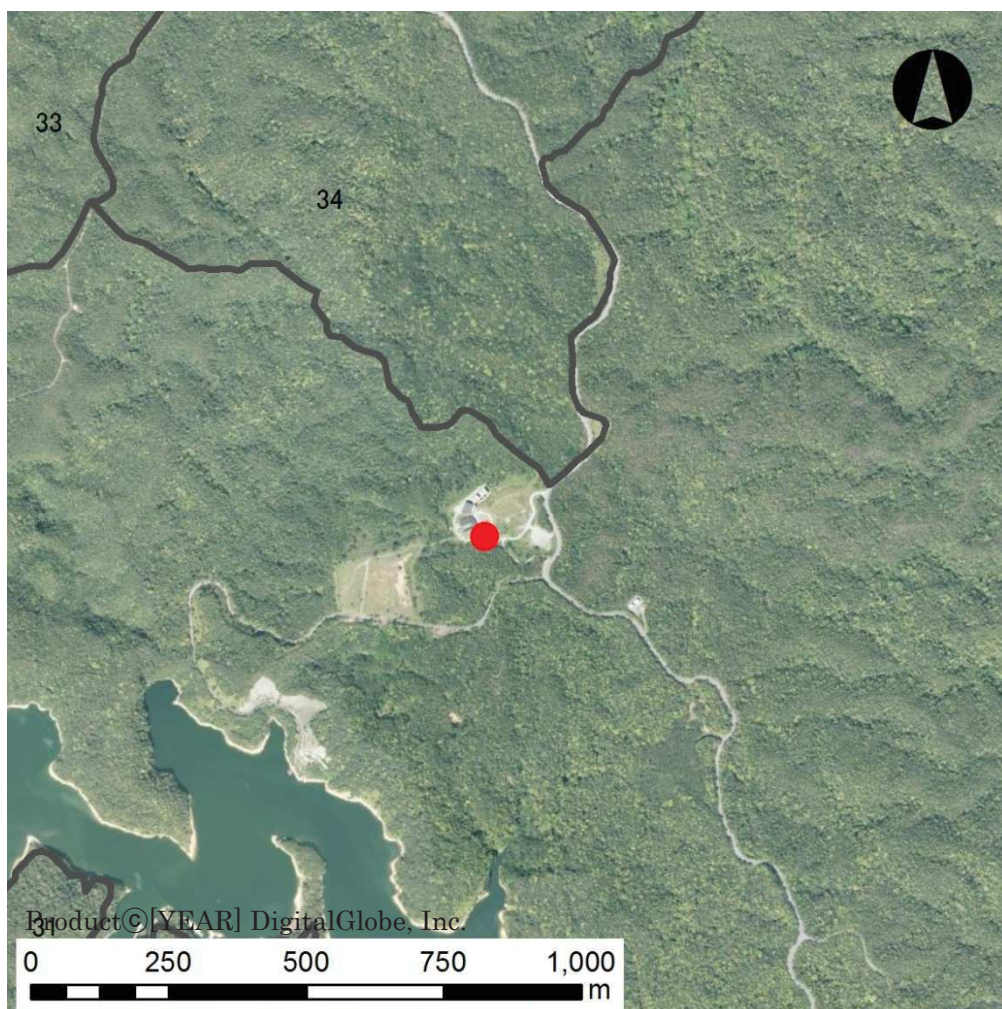
- ・平成 20 年に、国頭村安波国有林として 2.49ha 設定された、大径木の木材資源の育成地
- ・北部訓練場地外の 35 林班は、77 年生のシイ (天然林)
- ・北部訓練場地外の 34 林班は、77 年生のシイ (天然林)
- ・北部訓練場地外の 36 林班は、82 年生のシイ (天然林)、47 年生のリウキュウマツ

視察箇所⑦ 学びの森

位置図



状況写真

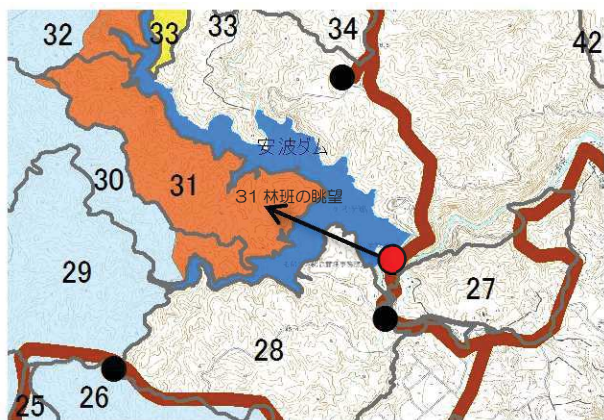


状 況

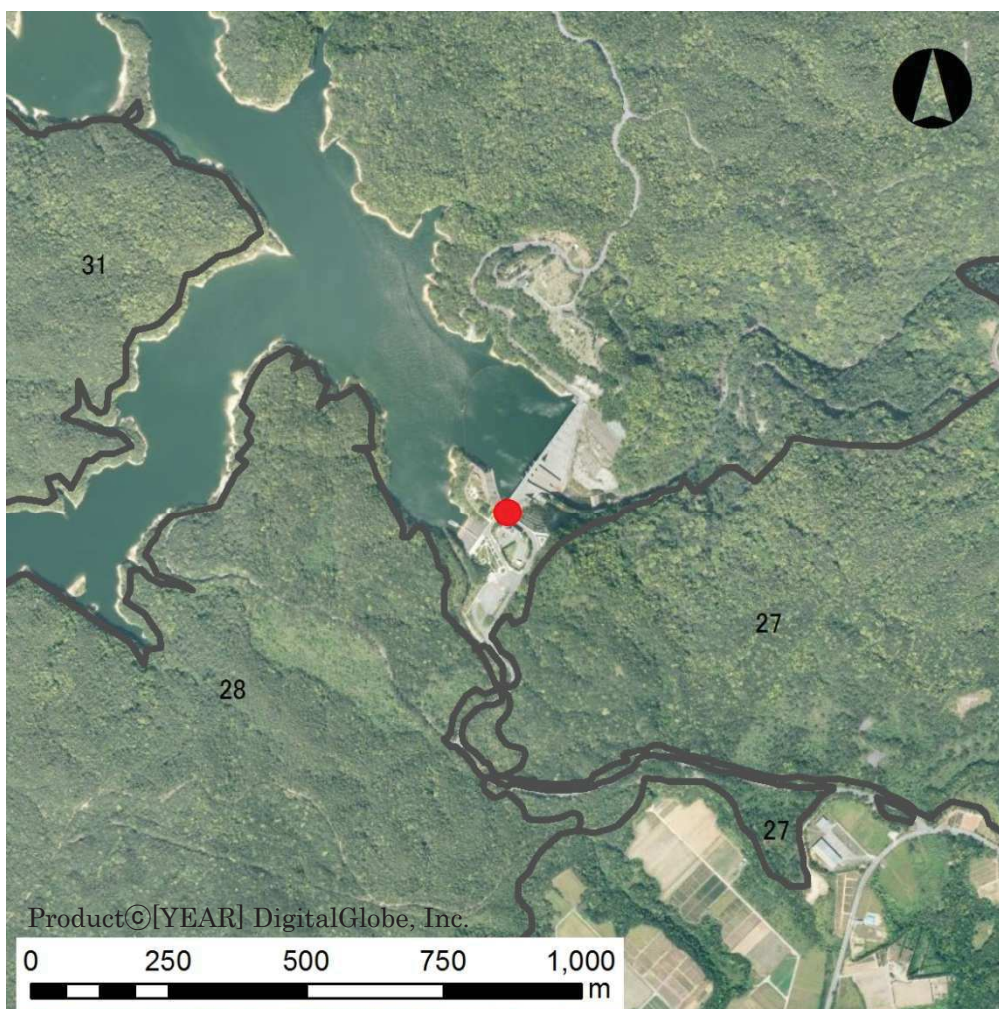
- ・ 米軍の安波訓練場跡地と安波ダム建設時の残土置き場を活用して整備された。現在では環境教育の普及啓発を含めた拠点施設
- ・ 指定フィールドとして利用予定

視察箇所⑧ 31 林班 (安波ダムより遠望)

位置図



状況写真

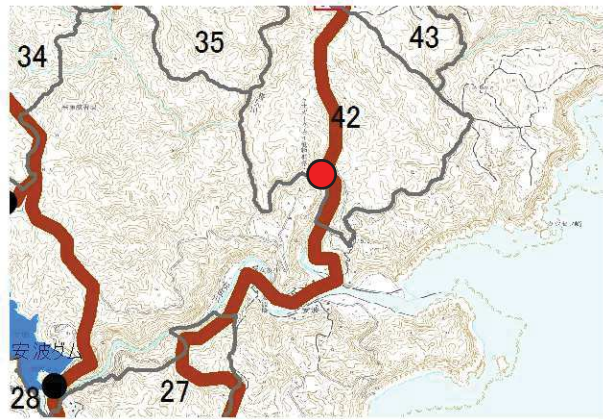


状 況

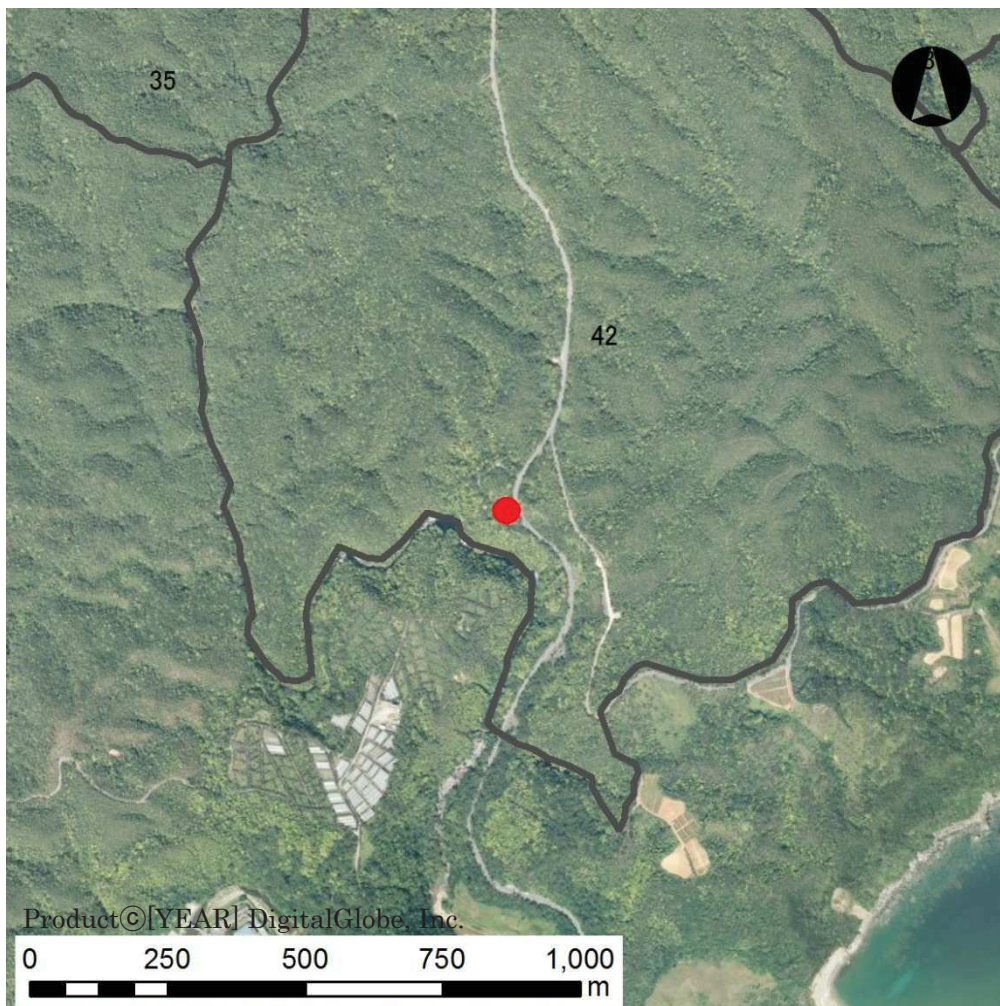
- ・ 31 林班は保存地区 (予定)、75 年生の他広葉樹とシイ (天然林)

視察箇所⑨ タナガーグムイ植物群落入口（通行止め箇所）

位置図



状況写真

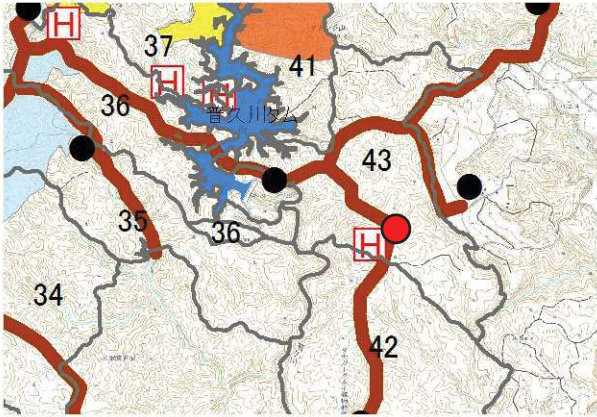


状況

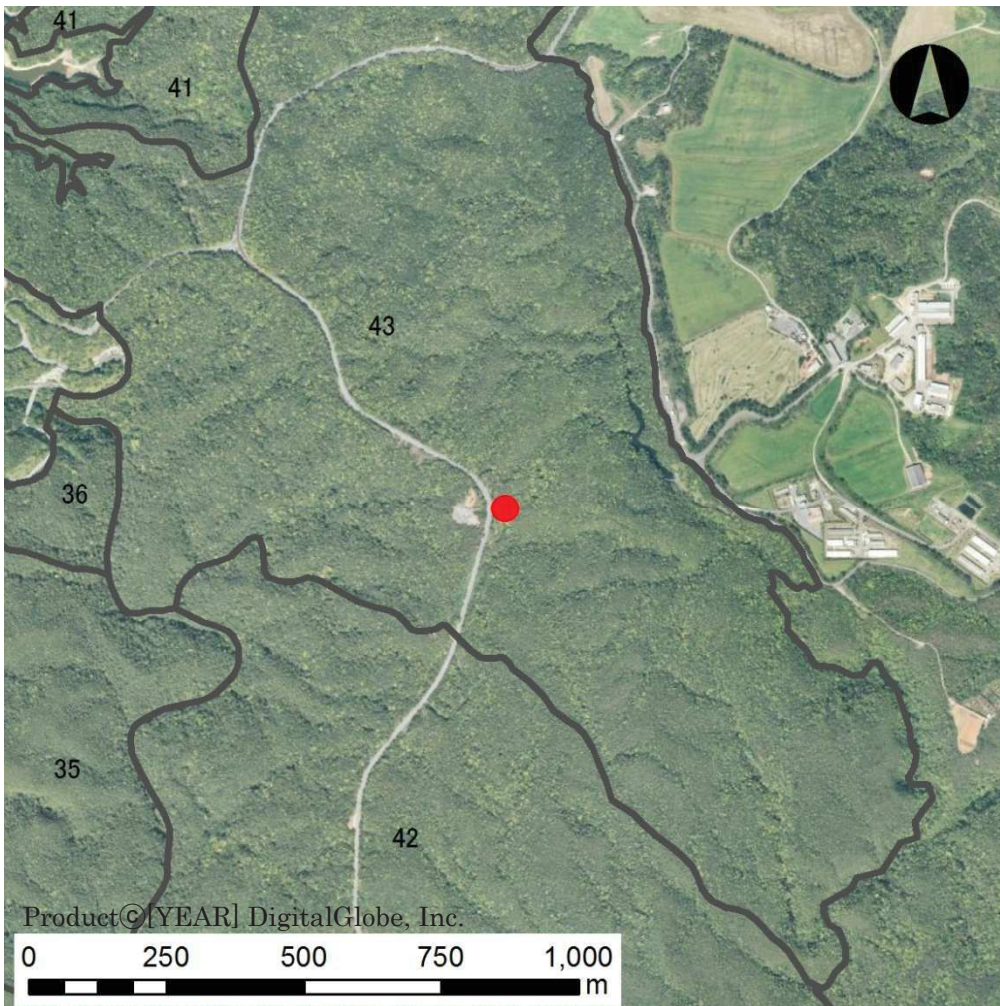
・平成21年3月の検討委員会報告書では、タナガーグムイ周辺のように、自然景観等に優れた地域もあり、森林レクリエーションの場として期待があるとしているが、最近の転落死亡事故を受けて立入禁止となっている。

視察箇所⑩ ヘリパッド跡地 (LZ-3)

位置図



状況写真

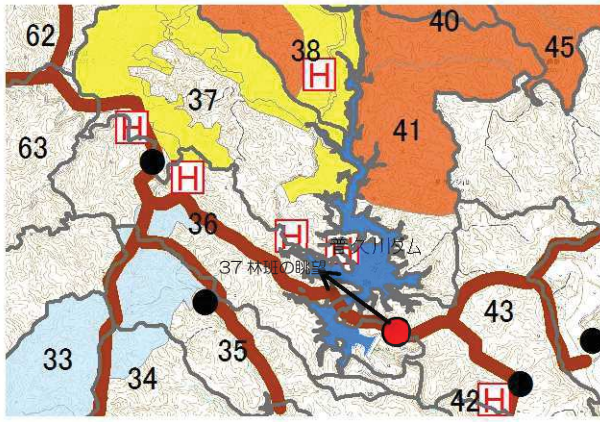


状況

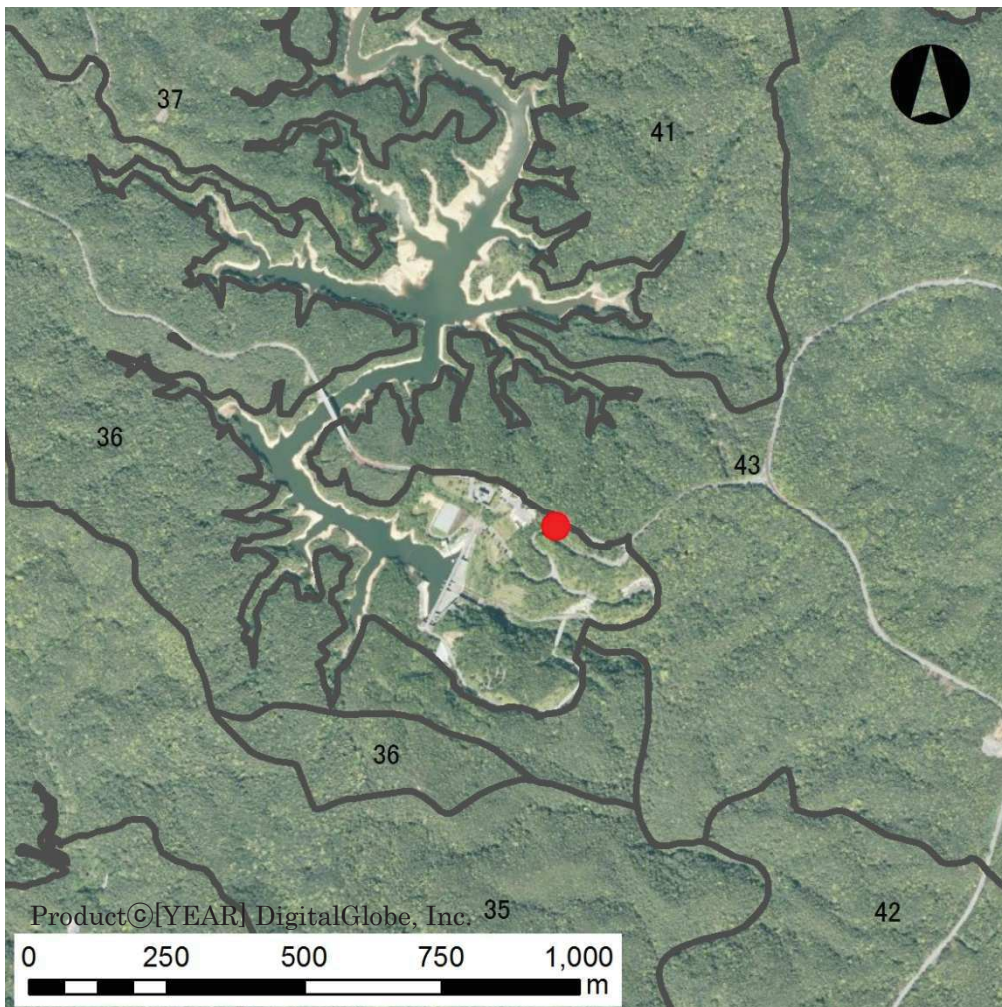
・保護地域設定予定地内のヘリパッド跡地 (FBJ) の状況に似ている、ヘリパッド跡地 (LZ-3) の植生回復状況

視察箇所① 37 林班 (普久川ダムより遠望)

位置図



状況写真

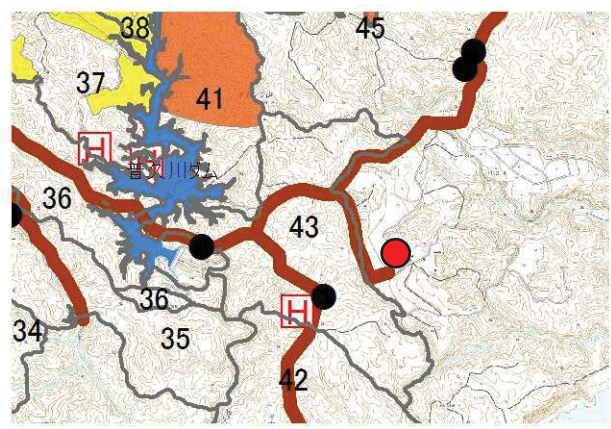


状況

・37 林班の内、保全地用地区 (予定) は、49 年生のリュウキュウマツ、67 年生のシイ (天然林)

視察箇所⑫ ヤンバルクイナ生態展示学習施設

位置図



状況写真

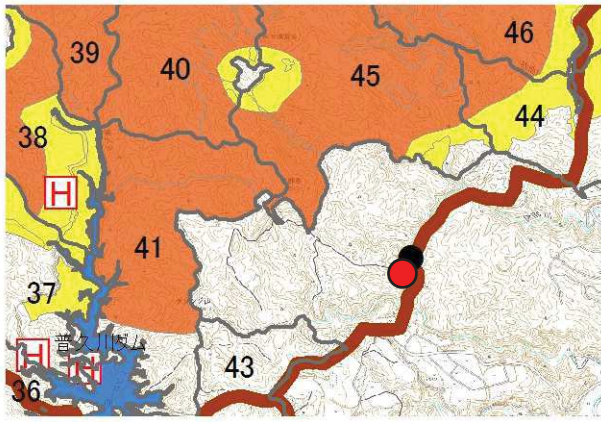


状況

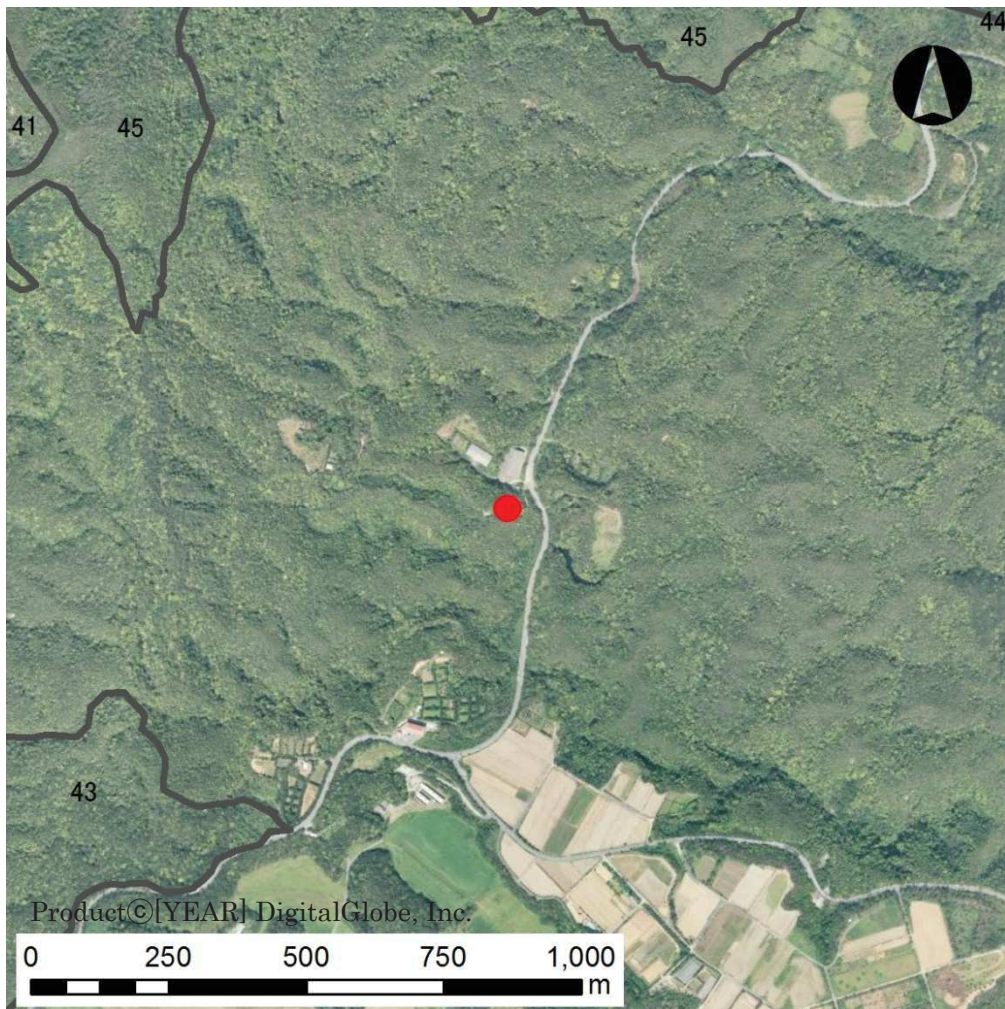
・ヤンバルクイナの生態ほかの学習施設

視察箇所⑬ 伊部岳登山口

位置図



状況写真



状 況

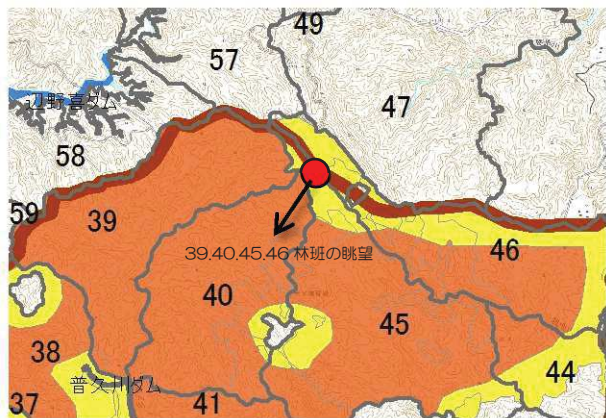
- ・伊部岳南西側斜面にかけてのマテバシイの優占する林分（高齢林）
- ・海拔 290～340m に成立するイタジイ林
- ・伊部岳地区保全利用協定（協定有効期間 H28. 9. 1～H30. 8. 31）の区域。県道 70 号からオキナワラジロガシまでは、村有林内なので指定フィールドとしている。登山道は国有林内に位置するため、指定フィールドからは外している。



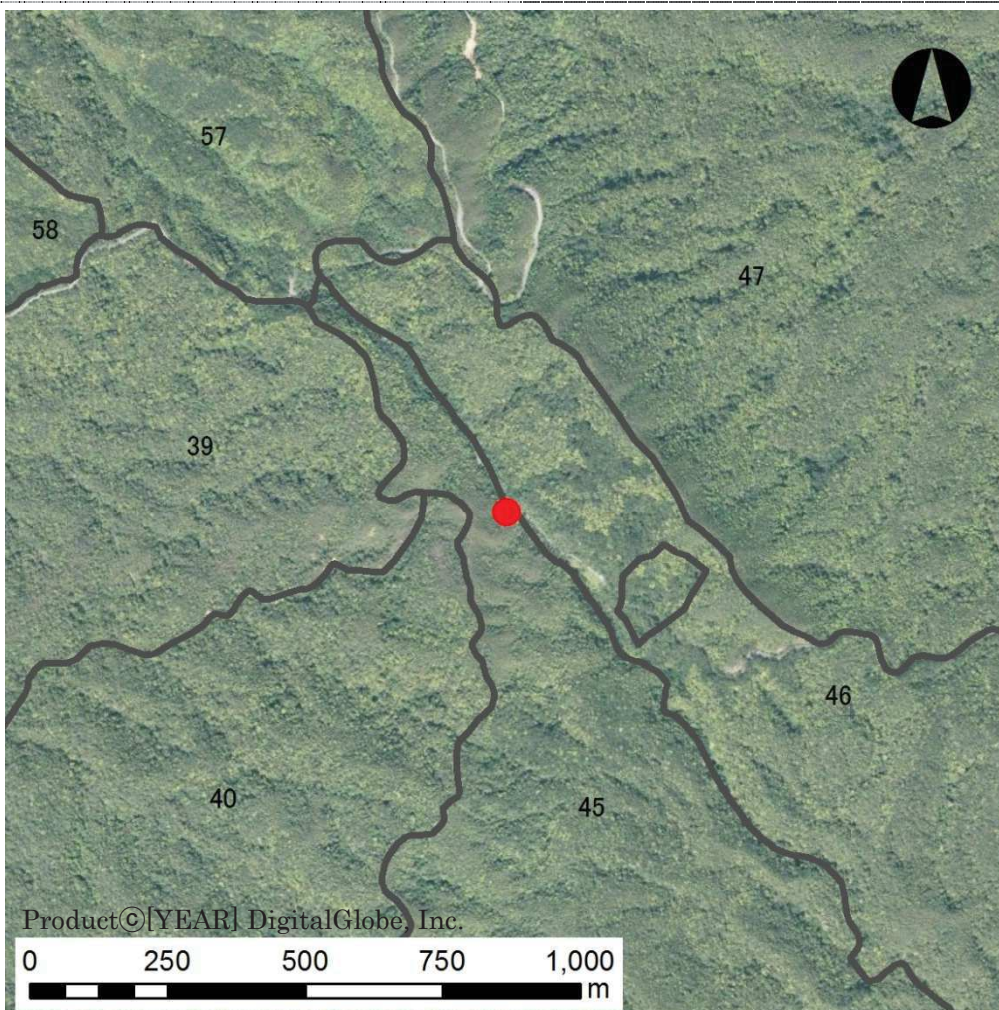
※伊部岳のオキナワウラジロガシは、伊部岳中腹にあり、幹周 240 cm・760 cm、樹高 22m、樹齢 300 年以上で、1997 年にはオキナワウラジロガシの仲間としては日本一の巨木であると確認された。また、琉球王朝時代に首里城の建築用材として、国頭間切から献納されていたその生き残りと推定されており、現在ではシンボルツリーとしての役割もある。

視察箇所⑭ 40 林班外（道路沿いより遠望）

位置図



状況写真



状況

- ・ 39 林班は保存地区（予定）
- ・ 40 林班は保存地区（予定）、保全利用地区（予定）、一部介在地
- ・ 45 林班は保存地区（予定）、保全利用地区（予定）、一部介在地
- ・ 46 林班は保存地区（予定）、保全利用地区（予定）、
- ・ 保存地区は 77～92 年生のシイ（天然林）、保全利用地区は 67～82 年生のシイと 82 年生のその他広葉樹